

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1 歳児)

6月初旬の良く晴れた日、ことり組が砂場で泥遊びを楽しんでいる様子を、たまご組の子どもたちが近くでじっと見つめていました。「なんだろう?」、「楽しそうだな」、「やってみようかな…!」と心が動き、興味を持った子たちが砂場に加わりました。ことり組が作った泥を握ったり、砂にお尻を付けて座ってみたり…泥や水の感触が手から伝わり、笑顔があふれました。「気持ちいいな」、「楽しいな」など、五感が刺激され、感情が湧き上がり、こころがイキイキと育まれている場面でした。

他にも、たまご組の子どもたちにとっては毎日の園生活に“はじめて”がたくさんあふれています。室内では、先生たちが見せてくれる絵本や、手遊び、ふれあい遊びなど…最初は「なんだろう?」と興味を持つことから始まり、大好きな先生と一緒に安心して、“楽しい”を感じていきます。暑い夏も、心を動かす経験を存分にさせてあげたいと思います。

身体をたくさん動かした後は、食欲も旺盛です。給食の先生が一つ一つ丁寧に丸めた肉団子や、醤油糍の入った納豆の青菜和えは子どもたちに大人気! 食事でも大事にしながら、体調管理に気を付け、7月も楽しいことをたくさん見つけていきたいと思います。



ことい組(2 歳児)

太陽の光がまぶしく、暑い日が続いていますね。ことり組の子どもたちは、暑さに負けることなく、毎日元気いっぱい! のびのびと過ごしています。

晴れた日は「お外行きたい!」と戸外へ出発します。最近では砂場での水遊びに夢中です。バケツに水を汲んで、せっせと一生懸命運び、砂場に掘った穴にジャーッと流して手作りプールの完成! 裸足になってドキドキしながら水に入ると…「冷たい!」「お砂が気持ちいいね」と大喜び! 水や泥に触れて遊ぶ中で、水がはねる面白さや、砂が砂が泥に変わっていく不思議な感触を全身で感じ、こころを弾ませて楽しんでいます。

お部屋の中でじっくり遊ぶのも大好きです。積み木やパズル、ままごと、そしてパンやさんごっこ。パンやさんごっこは、ホットタイムで歌っている「そうのパンやさん」の世界が広がって始まりました。紙で作ったパンに、子どもたちがクレヨンでこんがり焼き色をつけて、店員さんとお客さんになりきって…。「ばんぱばんぱん♪」と誰かが歌うと、自分も歌いたくなる! 一緒にホットタイムをしている経験が、“友だち”を意識する姿へ繋がっていきます。

今週から、いよいよプールでの水遊びが始まります。お兄さん、お姉さんたちのプールを見学して、「プールやりたい!」と心待ちにしていた子どもたち。水の気持ち良さを存分に味わいながら、暑い夏ならではの遊びを楽しみたいと思います。



すみれ組(3 歳児)

梅雨に入り、この時期ならではの雨の歌、雨の日のあそび、お天気がいい日は裸足になって水遊び! 毎日子どもたちは目の前に広がる遊びに夢中です! 生き物に関心を持ち、ダンゴムシを育てたり、お部屋にやってきたアオムシを絵本や図鑑で調べたりしながら、サナギからモンシロチョウになっていく過程をみんなで楽しみました。砂場では裸足になって水の冷たさ、気持ち良さを肌で直接感じました。また、園庭にあるブルーベリーが、色づいていき、収穫を日々楽しみにしている子どもたちです。虫や水、草木など、自然との触れ合いを存分に楽しみました。

いよいよ始まったプールでは、着替えの仕方や自分の持ち物の管理等を先生と一緒に積み重ねています。お水の中で忍者遊び等をして【水と仲良くなる】を楽しみながらしています。7月は引き続きプール遊びを行い、水の気持ち良さを、子どもたちの「もっとやりたい!」を大切に、遊びを広げていきたいと思います。今後も暑い日が続く中で、自分の身体に関心を持ちながら、汗をかいたら着替える、水分補給をこまめにする等、暑さ対策をしながら、夏のあそびをたくさん楽しんでいきたいと思います。



ひつじ組(4 歳児)

ひつじ組になって初めてのクッキングが始まり、寒天に夢中になったひつじ組。

寒天クッキングは、棒寒天、糸寒天、粉寒天など様々な寒天に挑戦し、クッキングを重ねていく中で、子どもたち同士での言葉のやり取りがどんどん弾んでいく姿がありました。机を囲んでみんなで砂糖や水を量り、友達の様子をじっと見たり、気づいたことを伝えてみたりするなど、みんなでクッキングをする楽しさを感じていました。また、火を使って鍋で寒天を溶かしたり、包丁で切ってみたりと、初めてのことにちもやってみようと挑戦する姿がたくさんみられました。そして、自分たちで作った寒天を味わっていく中で「家族にも食べてもらいたい！」という思いが膨らみ、家族のプレゼントづくりに向けて、クッキングにさらに気持ちが高まっていきました。

クッキングを経て、好きな遊びや集団の中でも子ども達同士のやりとりが増えてきています。アイスクリーム屋さんごっこでは、店員とお客さんでやり取りを楽しんだり、「キッチンカーをつくりたい！」とイメージを膨らませたりなど、クラスでの遊びが広がっていています。7月も、様々な活動を通して、友達同士、言葉でたくさん伝え合い、みんなで取り組んでいく楽しさを味わっていきたいと思います。



ほし組(5 歳児)

園長先生からのこぎりを教わってから、大工さん遊びをたくさんしました！

そして、ついに家族のプレゼント作りがスタートしました！「ほし組になったみんなだからこそ出来ることでプレゼントを作ろう！」と、大工遊びで学んだことを活かしながら「世界で一つだけの壁掛け」を作ることに！家族への“ありがとう”や“だいすき”を伝えるにはどんなものを作ったらいいかな、と子どもたちは真剣に考えていましたよ！「お皿は何個作ろうかな」「イチゴは二つでバナナは一つにしよう！」と、想像したものを細かく設計図に落とし込むことで、『豊かな表現』はもちろん『数量や図形』など様々な力が育っていきます。そして、設計図ができた後は実際に木材を選んで切っていきました！中には太い木の枝や丸太を切った子どもも！切るために時間がかかるものもありましたが、みんな諦めずに頑張っていました！今は展覧会に向けても準備を進めています。楽しみに待っていてくださいね！

そして、いよいよ「ほし組キャンプ」に向けての話し合いが始まりました！“ぼくらのほし組キャンプ”にしよう！と、自分たちで積極的に話し合う姿が見られています！キャンプを通してより素敵なおし組になれるように。これからも友達と過ごす日々を大切にしていきたいと思います。



預かい保育(3・4・5 歳児)

暑い季節に入り午前中プールあそびをするようになったので、預かりの時間はゆっくりと過ごせるような遊び方をしています。

ほし組は積み木の部屋で積み木を楽しんだり、廃材を使った製作や折り紙、最近では、絵本をみて色々な形を並べて形をつくる「どっこ遊び」をする姿もみられます。

すみれ組、ひつじ組は粘土やパズル、おままごとやお医者さんごっこなどを楽しみ、異年齢と一緒に遊ぶ姿もみられます。暑さ指数の低い日は外に出て走り回ったりしますが、室内に戻るとスタッフが声をかけなくても自分で水分補給をする子が増えてきました。自分の身体を守る為にはどうしたらいいのか、考えられるようになってきているのですね。

預かりではほし組がすみれ組のお世話をしてくれる事があり、その関わり方も「何でもお世話する」から「やれる事は自分でやろうね」を大事に声をかけ、誘ったりするように変わってきている気がします。異年齢で関わる事でお互いに成長しているのですね。